検証プログラムのご案内

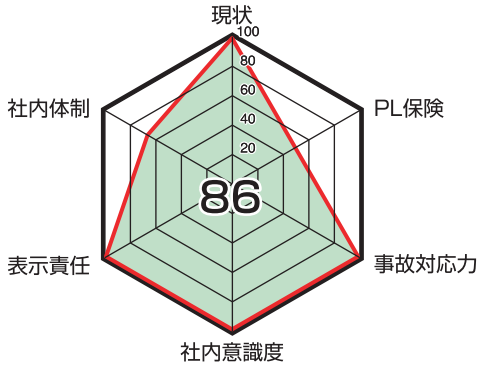
JTDNA
jtdna.or.jp

当協会では、「PL責任」について、表示の観点から独自のガイドラインを定め、それを元に「消費者視点のPL対策」を検証するための「検証プログラム」を作成、「第三者視点の検証」の有用性を提言しています。
「製品安全(PL)検証プログラム」では、製品固有の隠れたPLリスクを、「取扱説明書検証プログラム」では、取扱説明書などの表示にかくれたPLリスクを顕在化することや、改善の効果を表す事ができます。
御社の製品安全における行動指針として、ぜひご活用ください。

製品安全(PL)検証プログラム

製品ごとの潜在的なＰＬ環境を示します。

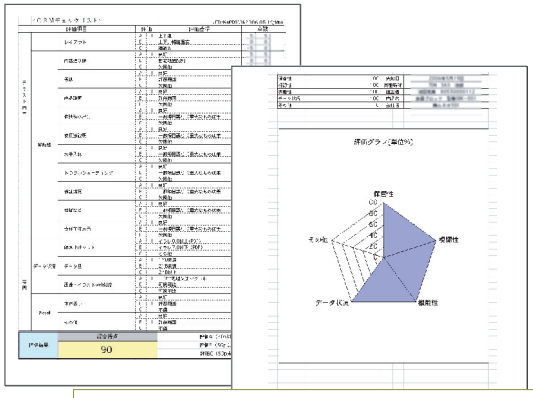
左半分はPLD(事故予防策)の傾向、右半分はPLD(事故発生後対策)の傾向が表示されます。



この検証では、製品安全上の潜在的なリスクについて評価を行い、結果を点数とチャートで示しています。
この結果を見ると、製品に関わる様々な環境の全体バランスや、不備や改善すべき事項が一目でわかり、製品安全対策に役立てることができます。
流通の多様化等により、製品毎の潜在的な製品安全環境は刻々と変化しています。ぜひ、この検証で示された不備を改善し、製品安全と更なる製品の品質向上にお役立てください。

取扱説明書検証プログラム

現在の説明書の内容、ガイドラインに則り使用者側の視点で検証し、不備改善部分を表示します。



■ 評価内容例（電気製品など）

1.保管性
10年以上の間、使用者がファイルなどに保管するための適性について評価します。

2.視認性
高齢化社会にも対応できる見やすさ、わかりやすさなどを評価します。

3.機能性
表紙に求められる機能、更に注意書きではなく「危険の洗い出し」という作業を経ているか、など、取扱説明書としての機能性を評価します。

4.データ状況
10年間保管管理を行うために、データの制作状況や圧縮形式など、プラットフォームやソフトの変革に対応できるのか、さらにweb対応力などを評価します。

5.その他
本体表示との整合性、総合的な事故防止に関する評価を行います。

85ポイント以上が目標達成の目安です。
結果が出ましたら、ぜひ協会のガイドラインを良くお読みいただき、不備点を改善し、今後の製品事故(PL事故)予防策や、事故発生後対策の向上にお役立てください。
結果の改善方法や手順は、協会の「ガイドライン」に全て網羅されています。

消費者視点のマニュアルの指標を研究しています。

Consumer's Satisfy Manual CSM

内閣府認証NPO法人 日本テクニカルデザイナーズネットワーク協会
〒171-0021　東京都豊島区西池袋3-22-5パークスビル3階
電話　03-5875-6175　FAX　03-5875-6176
Mail c-japan@jtdna.or.jp
URL http://www.jtdna.or.jp/

© PROCONSULTS2009.03JTDNA
（無断転記転載禁止）